

防災士の育成と現状について



渡辺 幸一 議員

防災士とは、NPO法人日本防災士機構が認定した人で、本町においても災害に対応するため、専門知識を習得した防災士の育成に取り組むべきと考えるが今後の取り組みと、現在の町職員の有資格者は。

総務課長

平成27年度当初予算で、町職員対象に防災士の資



簡易トイレの設営訓練

格取得費に5名分の30万5,000円を計上した。又、町職員で現在までの有資格者は、社会福祉協議会の職員を含め2名である。

町長

職員の体制をしつかりとるため、27年度に5名分の予算化をした。資機材の補助をしているが、人的な面での育成も必要ではないかと思う。



バケツリレーによる初期消火訓練

スポーツ合宿の誘致を含めたまちづくりについて

スポーツ団体の合宿は、宿泊、飲食店の利用による経済効果だけでなく、町内の各スポーツ団体との交流が考えられる。又評価しだいで継続性にも繋がり、町の活性化になると思うが。

町長

岐阜国体を機に、バドミントンといえば岐阜県、岐阜県の中では池田町の競技として全国的にPRし、一昨年に続き今年も実業団の大会を開催予定である。あらゆる機会を通し総合体育会を利用してもらい、実業団の強化合宿をやってもらえるような体制をつくっていきたい。



バドミントン日本リーグ（総合体育館）



青少年研修施設